

行政評価事務事業一覧

【まちづくりの目標4_都市基盤・防災・防犯・消防】

施策 4-1_快適で魅力・活力あふれる都市空間の創出

基本計画		事業番号	細事業名称
4-01-01	計画的な土地利用の推進	06198_01	地籍調査事業
4-01-01	計画的な土地利用の推進	08037_04	都市計画策定
4-01-03	誰もが安全、快適に利用できる公園緑地の整備	08049_01	公園整備事業
4-01-03	誰もが安全、快適に利用できる公園緑地の整備	08236_01	公園長寿命化対策事業
4-01-03	誰もが安全、快適に利用できる公園緑地の整備	08277_01	滝の宮公園リニューアル事業

令和6年度事務事業評価表

I 基礎情報				事後評価	2024	06198_01		
事業名(行目名称)		地籍調査事業費		細事業名	地籍調査事業			
総合計画	まちづくり	都市基盤・防災・防犯・消防		施策	快適で魅力・活力あふれる都市空間の創出			
	基本計画	計画的な土地利用の推進		担当課	国土調査課			
II 事務事業の実施概要								
事務事業内容	対象(誰・何を)	新居浜市域(調査対象面積)			数値	232.33Km ²		
	手段(どうやって)	毎筆の土地について、その所有者、地番及び地目の調査並びに境界及び地籍に関する測量を行い、その結果を地図及び簿冊に作成し、一筆ごとの土地の境界を明確化する。						
	目的(どんな状態にしたいのか)	地籍調査が行われることで、民間においては土地境界をめぐるトラブル防止や登記手続の簡素化・費用縮減、土地の有効活用が促進される。行政においては各種公共事業の効率化やコスト縮減に寄与するとともに、公共物管理の適正化が図られるようになる。						
III 投入費用								
実施年度		令和5年度 決算額(千円)	令和6年度(千円)			令和6年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース		
			当初予算額	年度末予算額	決算額	<ul style="list-style-type: none"> ○報酬 653千円 ○職員手当等 802千円 ○共済費 182千円 ○旅費 51千円 ○需用費 384千円 ○役務費 252千円 ○委託料 12,013千円 ○使用料及び賃借料 1,126千円 ○負担金補助及び交付金 329千円 		
経費		50,217	15,792	113,892	15,381			
財源	県・国支出金	28,059	0	73,575	0			
	地方債		0	0				
	その他	47	15,792	40,317	15,381			
	一般財源	22,111	0	0	0			
IV 指標								
成果指標名(計算式)			令和4年度	令和5年度	令和6年度中間値	令和6年度	令和7年度	
事業進捗率(%)			目標値	13.9	14.8	15.7	15.7	16.6
調査換算面積÷調査対象面積			実績	15.1	16.1	16.1	17.2	—
V 事中評価								
評価視点		妥当性	やや高い	有効性	やや高い	効率性	やや高い	
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する					
<p>昨年度からの継続となる「一宮町一丁目、一宮町二丁目地区」及び別子山の「芋野の一部、成の一部地区」、今年度は新規着手となる「田所町、繁本町、宮西町地区」、別子山の「成の一部地区」及び別子山の「竹ヶ市の一部、大野の一部地区」において実施しており、予定どおり進捗している。</p>								
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	拡大					
<p>国、県の財源措置もあるため、第7次国土調査事業計画に基づき事業を継続していく。 新規地区として、「若水町一丁目、若水町二丁目地区」、「徳常町地区」、別子山の「大野の一部地区」及び別子山の「横道の一部、瓜生野の一部地区」に着手する。 概況調査では、DIDの「泉池町、中須賀町一丁目、西原町一丁目地区」を予定している。</p>								
VI 事後評価								
成果		総合評価(令和6年度)		A:計画通りに事業を進めることが適当				
<p>土地取引やインフラ整備の円滑化、防災・減災対策を推進するため、今後も事業を継続する必要がある。</p>								

令和6年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2024	08037_04			
事業名(行目名称)		都市計画策定費	細事業名	都市計画策定				
総合計画	まちづくり	都市基盤・防災・防犯・消防	施策	快適で魅力・活力あふれる都市空間の創出				
	基本計画	計画的な土地利用の推進	担当課	都市計画課				
II 事務事業の実施概要								
事務事業内容	対象(誰・何を)	新居浜市民		数値	118,521人			
	手段(どうやって)	上位計画に基づき、都市計画上の課題に対応した都市計画変更の手続きを行うため、必要な基礎調査、協議等を重ねてきた。						
	目的(どんな状態にしたいのか)	新居浜市長期総合計画(後期戦略プラン)、新居浜市都市計画マスタープランに示される本市の課題に対応した都市計画変更を行うことにより、まちづくりを計画的に進めて、適正かつ合理的な土地利用を実現することができる。						
III 投入費用								
実施年度		令和5年度 決算額(千円)	令和6年度(千円)			令和6年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース		
			当初予算額	年度末予算額	決算額			
経費		24,774	8,445	8,445	7,184	○旅費 177千円 ○需用費 267千円 ○役務費 14千円 ○委託料 7,924千円 ○備品購入費 22千円 ○負担金補助及び交付金 41千円		
財源	県・国支出金	2,152	2,805	2,805	2,200			
	地方債		0	0				
	その他	589	0	0	2			
	一般財源	22,033	5,640	5,640	4,982			
IV 指標								
成果指標名(計算式)			令和4年度	令和5年度	令和6年度中間値	令和6年度	令和7年度	
都市計画決定(変更)案件数(件)			目標値	2	4	1	1	1
			実績	3	4	0	2	—
V 事中評価								
評価視点		妥当性	やや高い	有効性	やや高い	効率性	やや高い	
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する					
人口減少、少子高齢化が進行していく中、まちの将来像実現に向けて、持続可能なコンパクトなまちづくりを推進していくことが求められる。また都市機能を確保するためには、都市計画法に基づき適正な制限のもと、合理的な土地利用や都市施設の事業を進めていくことが重要であり、それらに必要な事項を定めた計画の作成や事業実施に伴う計画の見直し等は計画的に取り組む必要がある。								
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持					
まちづくりに関する根幹的な計画の作成や見直しは無いが、都市拠点の再整備に向けた都市計画の手続きに係る見直し等が必要となるため、継続的な予算の確保を求める。								
VI 事後評価								
成果	総合評価(令和6年度)		A: 計画通りに事業を進めることが適当					
都市計画マスタープランに基づき都市施設(都市計画道路)の都市計画決定の変更を行った。また、持続可能でコンパクトなまちづくりを目指す新居浜市立地適正化計画には、新たに防災指針を位置付けた。なお、都市計画決定事業の計画的な事業実施により、目指すべき都市構造が形成されていくため、都市計画の適時適正な見直し及びまちづくりに関する計画の策定を行う本事業は必要なものである。								

令和6年度事務事業評価表

I 基礎情報				事後評価	2024	08049_01		
事業名(行目名称)		公園整備事業		細事業名 公園整備事業				
総合計画	まちづくり	都市基盤・防災・防犯・消防		施策 快適で魅力・活力あふれる都市空間の創出				
	基本計画	誰もが安全、快適に利用できる公園緑地の整備		担当課 都市計画課				
II 事務事業の実施概要								
事務事業内容	対象(誰・何を)	市民全体			数値	118,521人		
	手段(どうやって)	維持管理状況の適正な把握(パトロール)による必要な業務の委託、維持補修及び施設更新、整備工事を行い、費用対効果を検証しながら、効率的な管理整備を行っていく。						
	目的(どんな状態にしたいのか)	公園の適正な維持管理・補修整備を行い、都市緑化を推進し、市民に安全かつ快適なレクリエーションスペースを提供すると同時に健康増進や市民相互の交流の場の創出を図る。						
III 投入費用								
実施年度		令和5年度 決算額(千円)	令和6年度(千円)			令和6年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース		
			当初予算額	年度末予算額	決算額			
経費		101,932	99,083	99,083	93,716	<ul style="list-style-type: none"> ○旅費 96千円 ○需用費 7,400千円 ○役務費 400千円 ○委託料 78,360千円 ○使用料及び賃借料 85千円 ○工事請負費 7,000千円 ○原材料費 200千円 ○公有財産購入費 5,000千円 ○負担金補助及び交付金 22千円 ○公課費 520千円 		
財源	県・国支出金	0	0	0	0			
	地方債	7,500	0	0	0			
	その他	0	0	0	304			
	一般財源	94,432	99,083	99,083	93,412			
IV 指標								
成果指標名(計算式)			令和4年度	令和5年度	令和6年度中間値	令和6年度	令和7年度	
パトロール等による改善件数			目標値	600	600	600	600	600
			実績	521	576	219	588	—
V 事中評価								
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	やや高い	
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する					
<p>一部の公園緑地を除き、大部分の都市公園は開設から多くの年数が経過し、施設の老朽化が顕著である。また、樹木も大木となり、施設や植栽の適切な維持管理が欠かせない状況となっている。除草や施設改修の要望・苦情も多く、職員が直接対応することも増えており、優先度を勘案して事業を実施していく必要がある。</p>								
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持					
<p>公園利用者が快適に公園施設を利用できるように、今後も公園施設の維持管理に取り組む。そのため、本事業は有効性・必要性の高い事業である。樹木の管理や害虫の駆除などは専門知識が必要なため、継続して現状の予算を確保し、公園利用者の安全の確保に努める。今後も継続して滞りなく維持管理・点検・修繕業務を実施していく。また、山根公園、新居浜公園には指定管理者制度を導入しているが、効果や効率性について今後検証を行い、予算要求に反映していく必要がある。</p>								
VI 事後評価								
成果	総合評価(令和6年度)		A:計画通りに事業を進めることが適当					
<p>市民から公園の利用や整備について多数の要望や意見が寄せられており、安全・快適に公園施設を利用できるよう維持・管理について計画的かつ継続的に取り組んでいく必要がある。</p>								

令和6年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2024	08236_01		
事業名(行目名称)		公園長寿命化対策事業	細事業名	公園長寿命化対策事業			
総合計画	まちづくり	都市基盤・防災・防犯・消防	施策	快適で魅力・活力あふれる都市空間の創出			
	基本計画	誰もが安全、快適に利用できる公園緑地の整備	担当課	都市計画課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	公園利用者	数値	118,521人			
	手段(どうやって)	長寿命化計画を策定し、計画的に修繕・改築を行う。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	長寿命化計画を策定し計画的な改築・修繕を行うことにより公園を安全で快適に利用できるようにする。					
III 投入費用							
実施年度		令和5年度 決算額(千円)	令和6年度(千円)			令和6年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費		8,418	51,874	51,874	44,835	○委託料 18,000千円 ○工事請負費 33,874千円	
財源	県・国支出金	2,118	24,000	24,000	20,480		
	地方債	2,000	13,500	13,500	13,300		
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	4,300	14,374	14,374	11,055		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和4年度	令和5年度	令和6年度中間値	令和6年度	令和7年度
公園に対する苦情件数(件) H30年度まで 公園施設の老朽化に関する苦情件数(件) R01年度			目標値	30	30	30	30
			実績	6	3	2	4
V 事中評価							
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
交付金対象施設は、公園長寿命化計画に基づき、更新補修を実施できているが、交付金対象外施設についても積極的な更新をしていく必要がある。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持				
長寿命化対策工事費については前年度と同規模となる。							
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和6年度)		A:計画通りに事業を進めることが適当				
令和6年度については、複合遊具、ベンチ等の改修や既存遊具の補修等を実施し、安全安心で快適な公園の利用を提供することができた。引き続き計画的に老朽化施設を改善し、適正な維持管理を行っていく。							

令和6年度事務事業評価表

I 基礎情報				事後評価	2024	08277_01		
事業名(行目名称)		滝の宮公園リニューアル事業		細事業名 滝の宮公園リニューアル事業				
総合計画	まちづくり	都市基盤・防災・防犯・消防		施策 快適で魅力・活力あふれる都市空間の創出				
	基本計画	誰もが安全、快適に利用できる公園緑地の整備		担当課 都市計画課				
II 事務事業の実施概要								
事務事業内容	対象(誰・何を)	滝の宮公園			数値	118,521人		
	手段(どうやって)	公園リニューアルに係る測量設計及び工事の実施						
	目的(どんな状態にしたいのか)	滝の宮公園について、少子高齢化や健康に対する意識の高まりなどの多様なニーズを踏まえ、安全かつ快適に公園施設を利用できるようにリニューアルを実施し、より一層市民に親しまれる憩いの場として復活させる。						
III 投入費用								
実施年度		令和5年度 決算額(千円)	令和6年度(千円)			令和6年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース		
			当初予算額	年度末予算額	決算額	<ul style="list-style-type: none"> ○職員手当等 1,500千円 ○需用費 600千円 ○委託料 4,000千円 ○工事請負費 29,000千円 		
経費		37,067	35,100	35,100	11,582			
財源	県・国支出金	18,133	16,500	16,500	5,485			
	地方債	17,000	16,700	16,700	5,500			
	その他	0	0	0	0			
一般財源		1,934	1,900	1,900	597			
IV 指標								
成果指標名(計算式)			令和4年度	令和5年度	令和6年度中間値	令和6年度	令和7年度	
公園利用者数			目標値	194000	198000	206000	206000	210000
			実績	211000	211000	105500	217000	—
V 事中評価								
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い	
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する					
新規駐車場の整備が完了し供用を開始した。今後については、大池周りの歩道整備を実施する予定となっている。								
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	拡大					
リニューアル計画に基づき予算要求を行う。								
VI 事後評価								
成果		総合評価(令和6年度)	A:計画通りに事業を進めることが適当					
令和6年度については、滝の宮公園において、駐車場、電気設備、歩道等の整備を実施し、利用者に安全かつ快適な空間を提供することができた。今後もリニューアル計画に基づき、整備を継続する。								